

# 北洋銀行のリスク管理への取組み状況

2010年8月

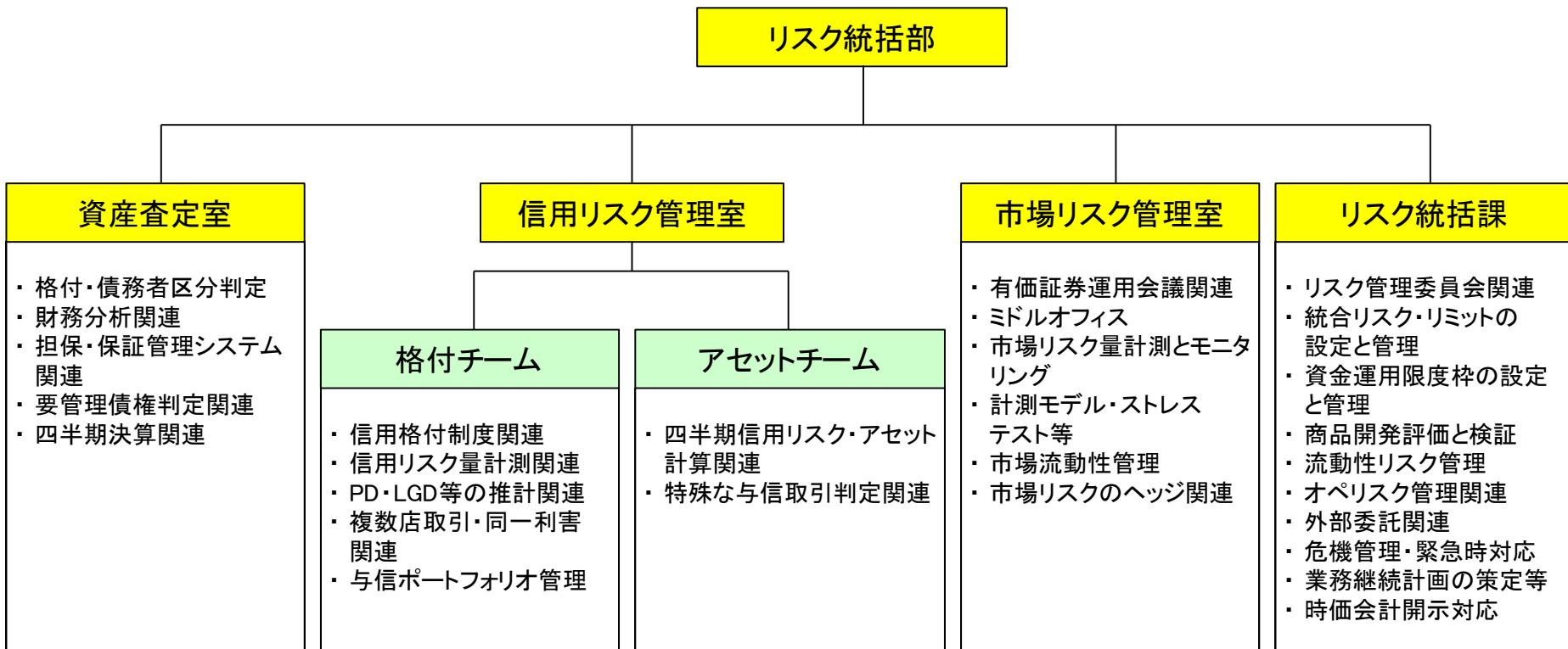
北洋銀行リスク統括部

# 目次

1. リスク統括部の業務内容
2. 統合的リスク管理
3. 市場リスク管理
4. 流動性リスク管理
5. 信用リスク管理
6. オペレーショナル・リスク管理
7. 危機管理とBCP
8. リスク管理にかかる今後の課題

# 1. リスク統括部の業務内容

# 1. リスク統括部の業務内容

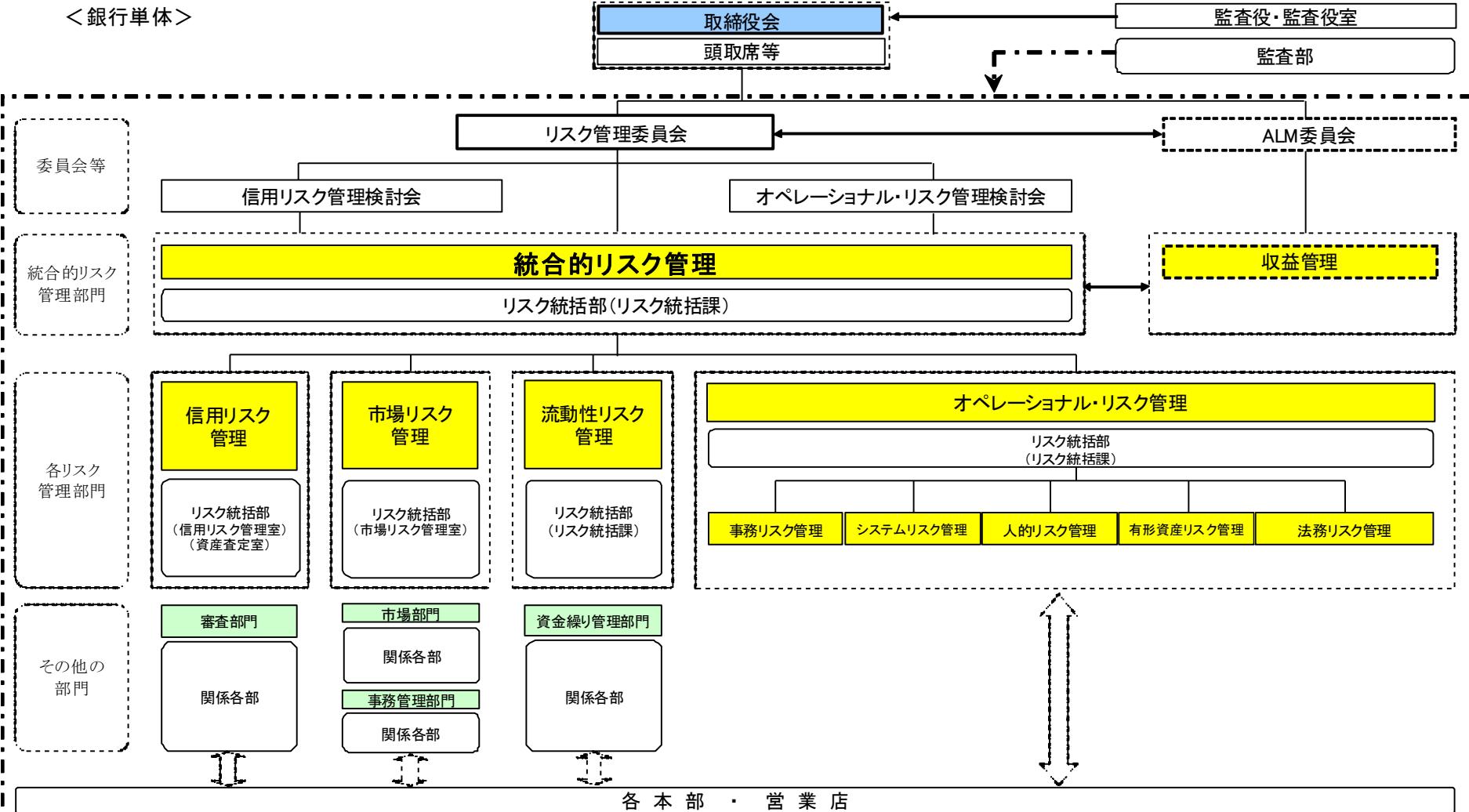


## 2. 統合的リスク管理

## 2. 統合的リスク管理

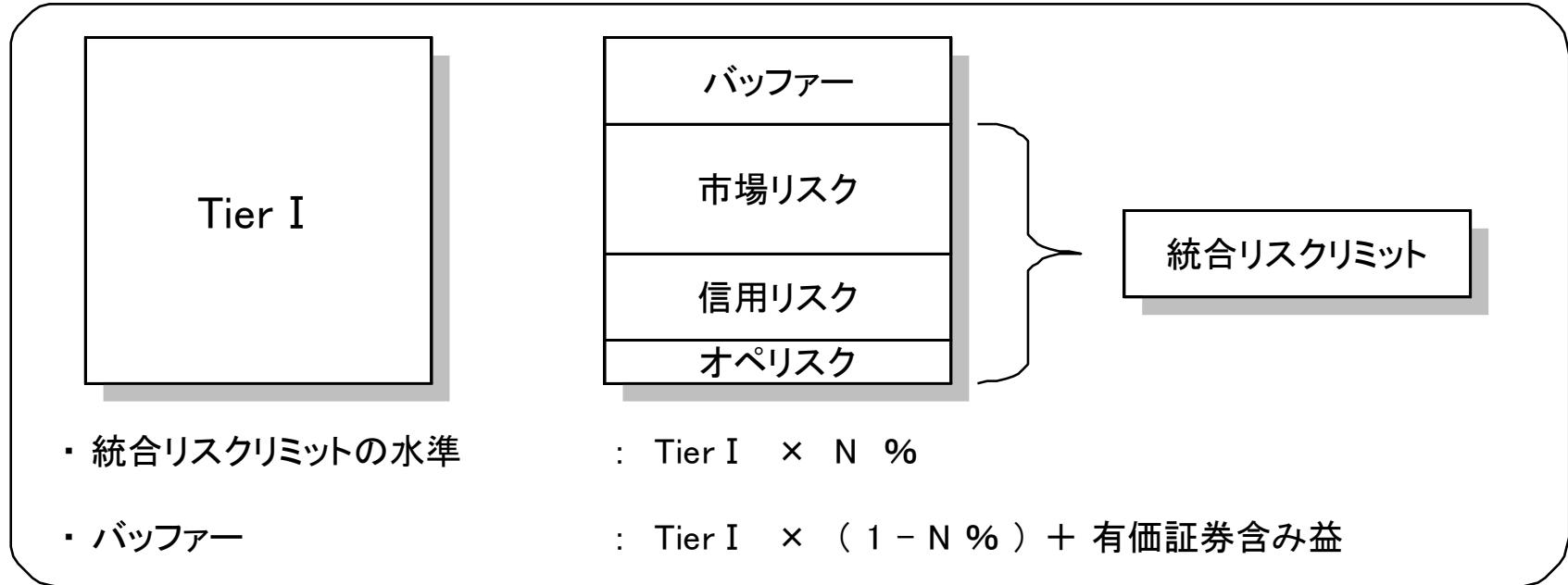
### (1) 統合的リスク管理体制

<銀行単体>



## (2) 統合リスクリミット管理

### ■ 概要



### ■ 管理

- ・ 日次管理 … とくに、市場リスクの変動を注視
- ・ 月次管理 … リスク管理委員会、ALM委員会報告

### (3) 統合ストレス・テスト

#### 【実施例】

「リーマンショック並みの相場下落・金融危機が再度発生した場合」

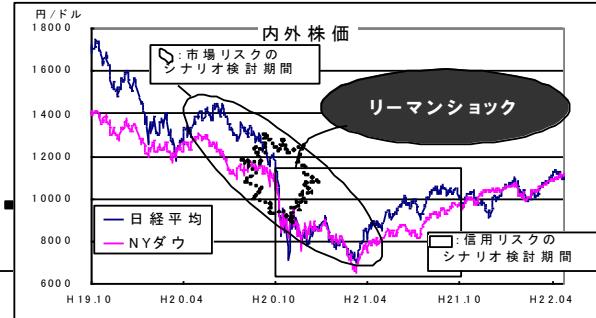
#### ■ シナリオ

##### ・ 市場リスク

	指標（例）	H20.6.18	H21.3.10	変動幅
金利変動	円10年金利	1. <sup>993</sup> %	1. <sup>238</sup> %	▲0. <sup>755</sup> %P
株式相場変動	円株式（日経平均）	14,452. <sup>82</sup> 円	7,054. <sup>98</sup> 円	▲7,397. <sup>84</sup> 円
	米ドル株式（NYダウ）	12,029. <sup>06</sup> ドル	6,926. <sup>49</sup> ドル	▲5,102. <sup>57</sup> ドル
為替相場変動	米ドル・円相場	107. <sup>88</sup> 円	98. <sup>67</sup> 円	▲9. <sup>21</sup> 円
⋮				

##### ・ 信用リスク

同一期間内の格付低下
… H20/9月からH21/9月に発生した格付下方遷移が発生
格付1格から2格へ〇先遷移、格付1格から3格へ〇先遷移、…
格付2格から3格へ〇先遷移、格付2格から4格へ〇先遷移、…
⋮
格付9格からデフォルトへ〇先遷移



- ・ 経済価値の変動  
⇒ リスク量への影響
- ・ 減損の発生  
⇒ 損益への影響

- ・ 与信ポートフォリオの悪化  
⇒ リスク量への影響
- ・ 追加与信コストの発生  
⇒ 損益への影響

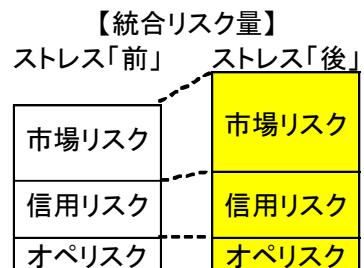
#### ■ 評価 ~ 自己資本充実度の検証

##### <イメージ>

- ・ 「損益への影響」と「リスク量への影響」  
…「自己資本」が減少し、「統合リスク量」が増加  
⇒ 資本使用率〇%以内とするためには、…

- ・ 「損益への影響」と「リスク・アセットへの影響」  
…自己資本比率が低下  
⇒ 自己資本比率〇%を維持するためには、…

##### ストレス「前」　ストレス「後」



## (4) 新商品・新規業務のリスク評価

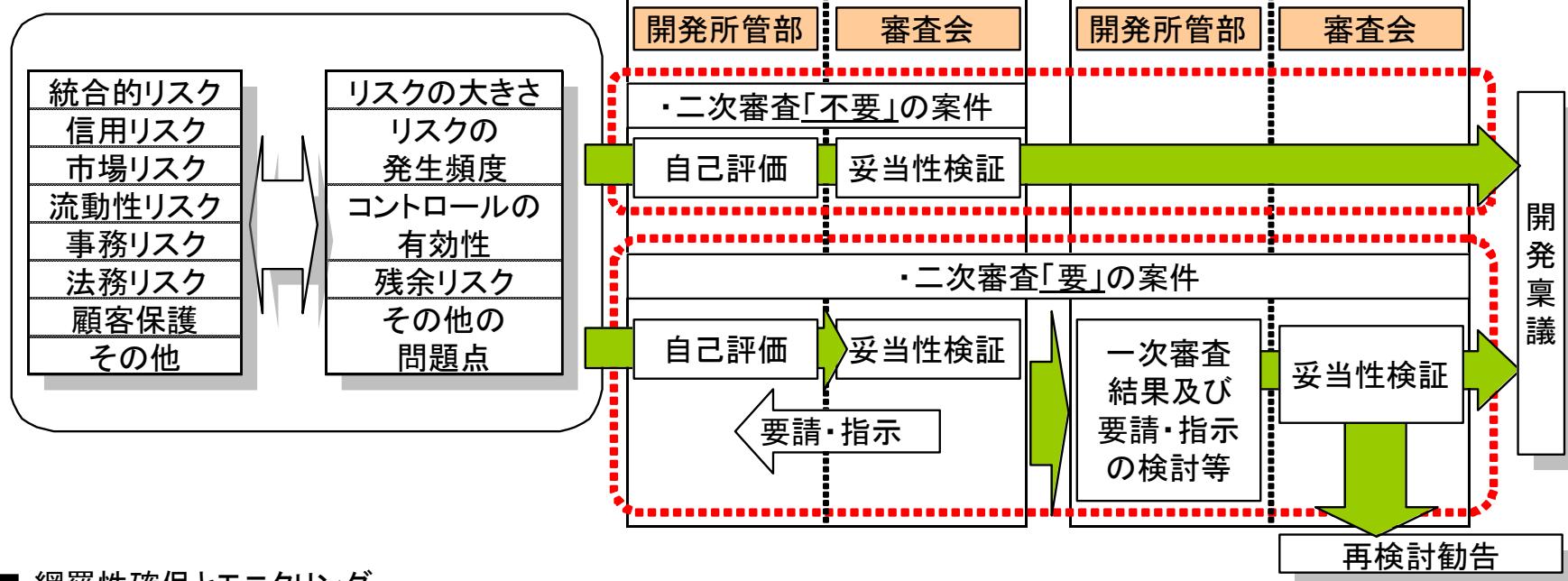
### ■ 新商品・新規業務の定義

- 既存商品・業務等の取扱内容変更を含む

### ■ リスク評価プロセス

#### 【イメージ】

#### リスク評価の検討事項

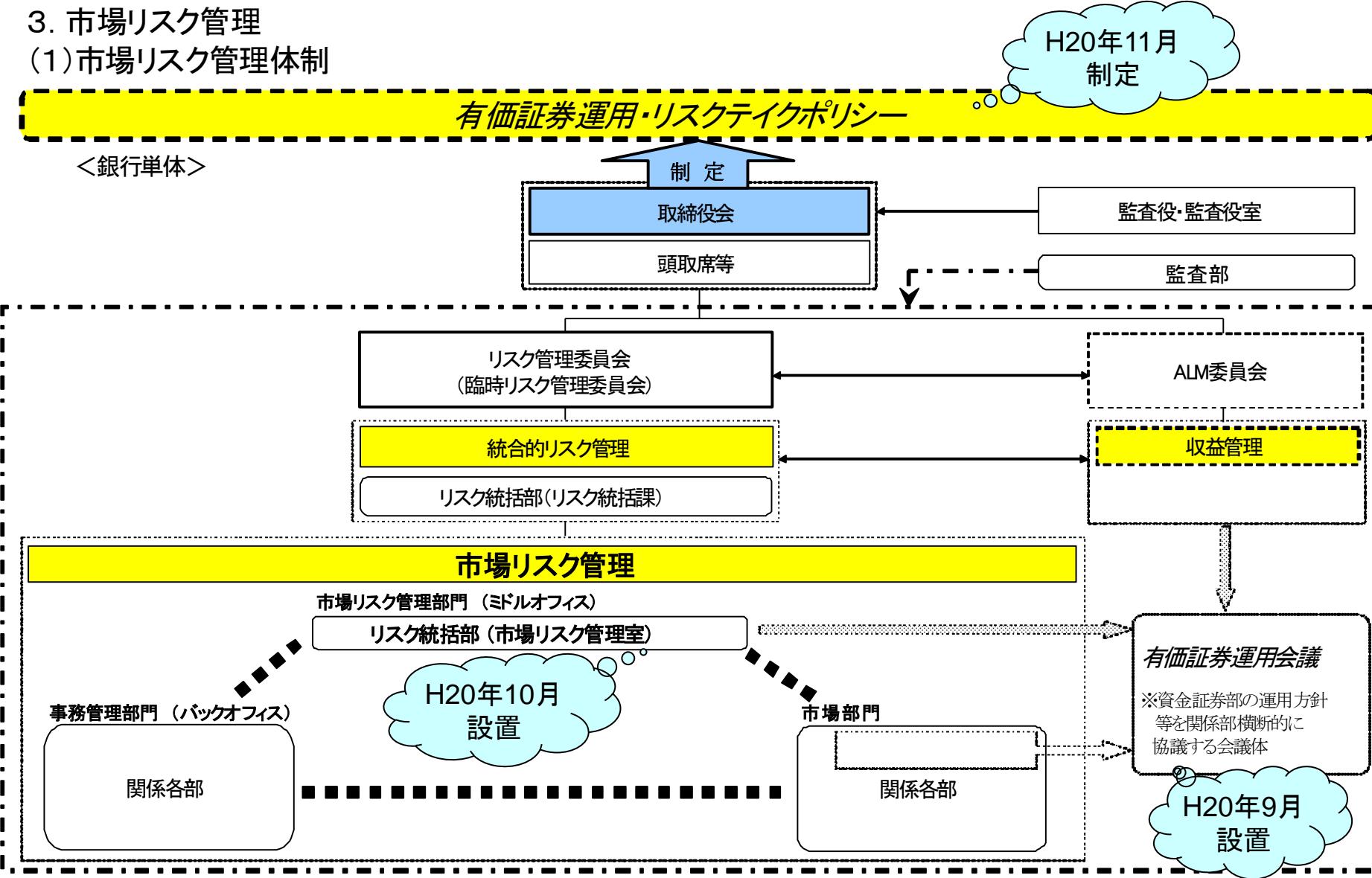


### ■ 網羅性確保とモニタリング

### 3. 市場リスク管理

### 3. 市場リスク管理

#### (1) 市場リスク管理体制



## (2)リスク管理ツール

【基本方針】 「有価証券運用・リスクテイクポリシー」に基づき、ローリスク、相場観に過度に依存しないこと、等を基本方針とする。

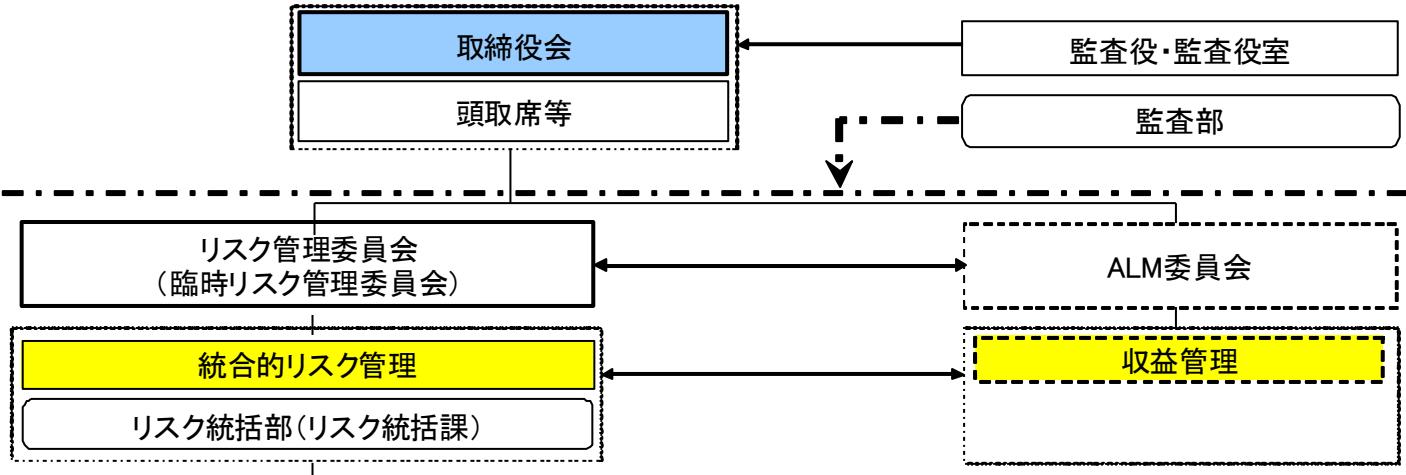
市場リスクの管理ツール		改正ポイント
■ 統合リスクリミット	… 市場リスクを含めた、統合リスクのリミット管理	■ 抵触水準の「深さ」を見直し
■ 損失限度 (個別銘柄・部門・全体)	… 評価損益水準等を考慮して設定	■ 市場リスク計測方法を見直し <ul style="list-style-type: none"><li>・ 市場リスク量</li><li>・ 保有期間</li><li>・ 観測期間</li><li>他</li></ul>
■ アラームポイント (個別銘柄・部門・全体)	… 損失限度の手前の警戒水準として設定(あらかじめ行動を決めておく)	■ その他の見直し <ul style="list-style-type: none"><li>・ 限度額</li><li>・ 権限</li><li>・ モニタリング頻度</li><li>他</li></ul>
■ 保有枠	… 商品別に保有枠を設定	
■ その他	… アウトライヤー規制、BPV、貸出との合算管理 他	

## 4. 流動性リスク管理

## 4. 流動性リスク管理

### (1) 流動性リスク管理体制

<銀行単体>



### 流動性リスク管理

【平常時】

流動性リスク管理部門

リスク統括部(リスク統括課)

資金繰り管理部門

関係各部

【警戒時】

(必要に応じ)ポジション会議

リスク統括部(リスク統括課)

ポジション会議統括

本 部 各 部 室

営 業 店

### 危機管理

【危機時】

総合対策本部

リスク統括部  
(リスク統括課)

総合対策本部事務局

本 部 各 部 室

営 業 店

危機時  
移行

## (2) 流動性リスクの危機管理

### ■ 流動性リスク管理の重要性

- ・ 実際に顕在化した場合には、銀行の経営破綻に直結するおそれがある。
- ・ イベント性が極めて高く、風評リスクにも注意する必要がある。

### ■ 危機管理指標による日次管理

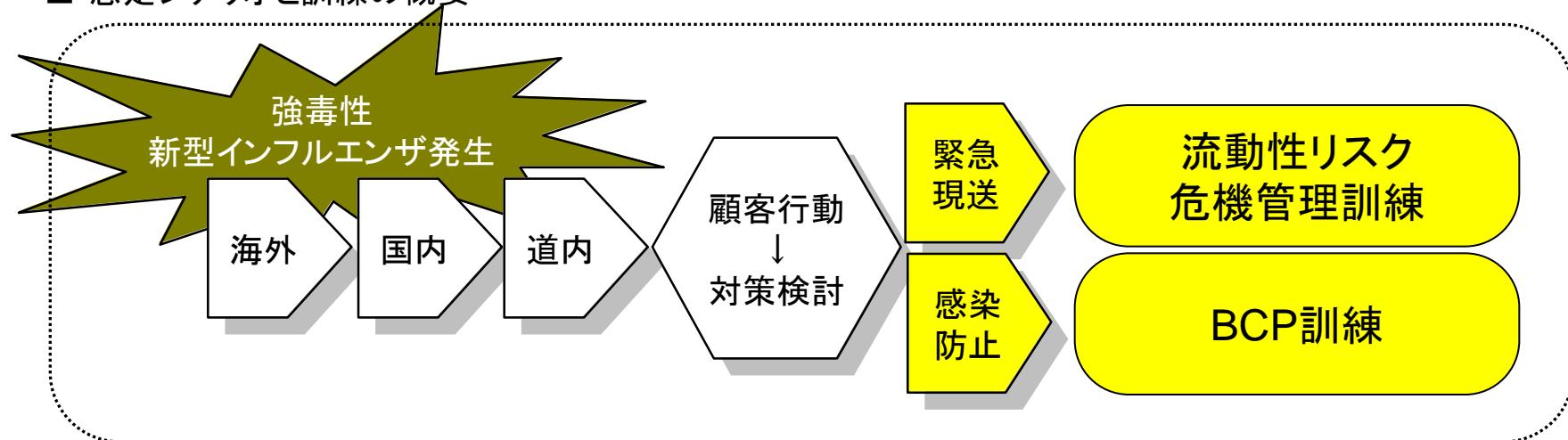
- ・ 「平常時」、「警戒時」、「危機時」の区分に応じた対応。
- ・ 定量指標、定性指標を定め、日次でモニタリング。
- ・ 抵触時には、速やかな意思決定を行う。

### ■ 流動性リスク危機管理の実効性確保

- ・ 対応手段・手続の事前策定（わかりやすいマニュアルの作成等）
- ・ 訓練の定期的な実施。

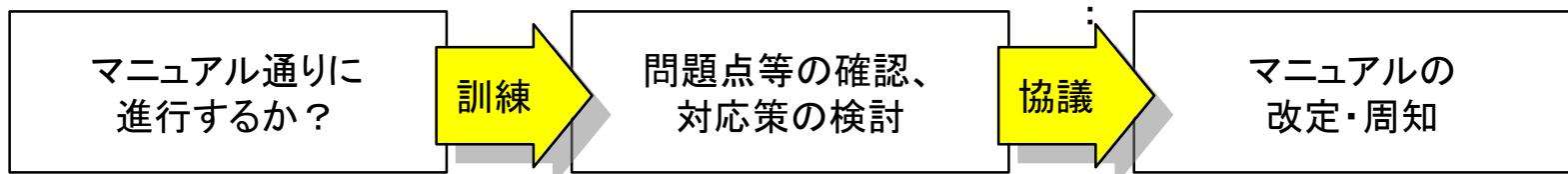
### (3) 流動性リスクの訓練の実施

#### ■ 想定シナリオと訓練の概要



#### ■ 流動性リスク危機管理の実効性確保

関連部、BCPチーム、危機管理委員会



#### ■ 流動性リスクのストレス・テスト

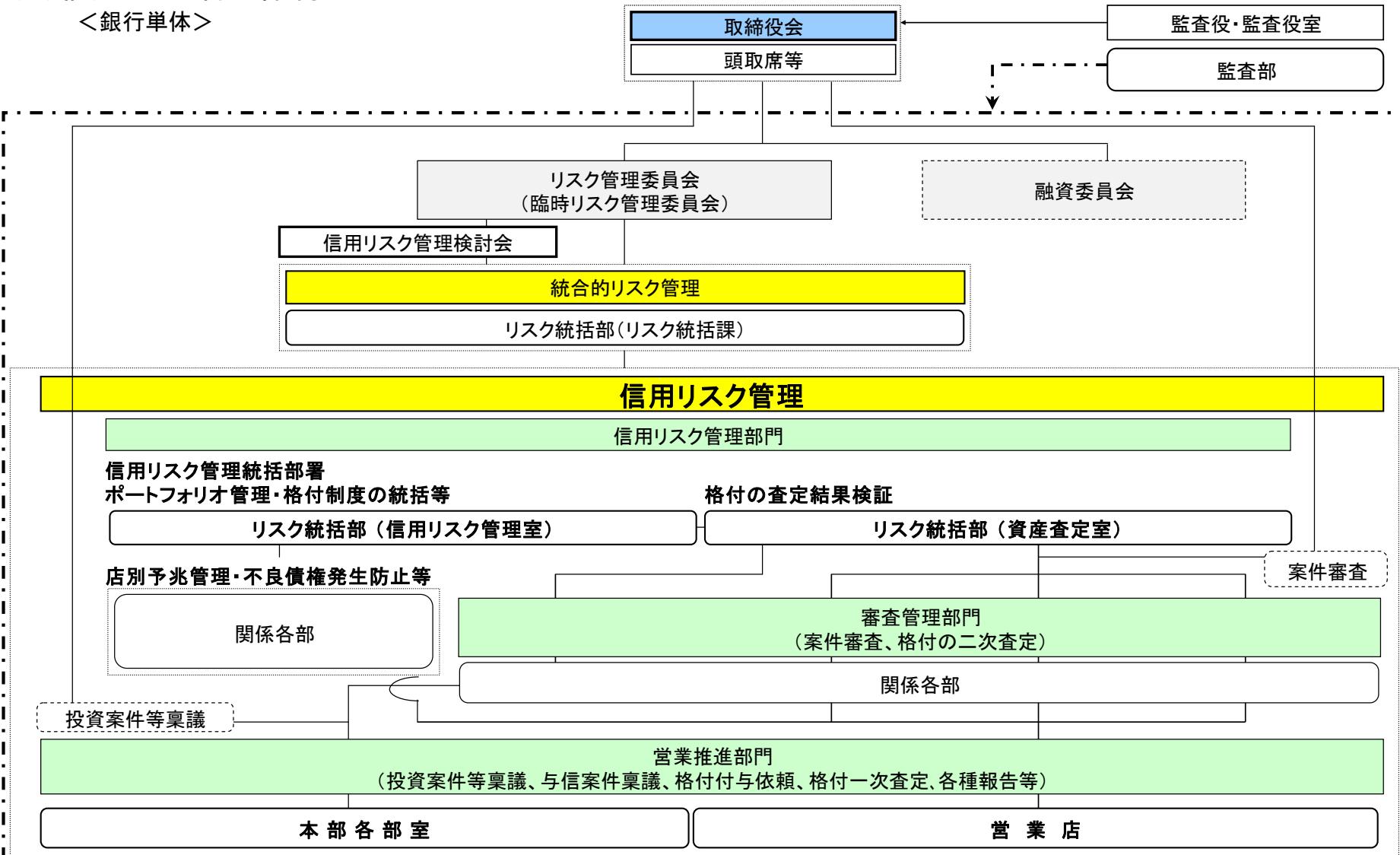
- ・ 強毒性新型インフルエンザが発生した場合、流動性にどのような影響が生じるか？

## 5. 信用リスク管理

## 5. 信用リスク管理

### (1) 信用リスク管理体制

<銀行単体>



## (2) 内部格付制度と実務運用

### ■ 格付体系とパラメータ

#### ・格付体系とデフォルト確率(PD)

格付	債務者区分	PD
1格	正常先	
2格		
3格		
4格		
5格		
6格		
7格		
8格	要注意先	
9格		
10格	要管理先	
11格	破綻懸念先	
12格	実質破綻先	
13格	破綻先	

#### ・デフォルト時損失率(LGD)

資産区分等	LGD
事業性与信	
個人ローン	
	住宅ローン
	アパートローン
	⋮

推計したPDやLGDを  
どのように活用しているか

- ・収益管理の信用コスト率
  - … 推計した「PD × LGD」を適用。
- ・案件格付
  - … 債務者格付と、4区分のLGD格付とのマトリクス。案件のリスクに見合ったプライシングに活用。
- ・審査権限
  - … 貸出限度額の権限は、格付別の体系。
- ・投資基準
  - … シンジケートローン等の投資基準に格付を活用。
- ・信用リスク量の算出
  - … PD、LGDの他、枠空等には推計した掛目を用いて算出。
- ・基礎的内部格付手法による自己資本比率試算
  - …

### (3) 与信ポートフォリオ分析

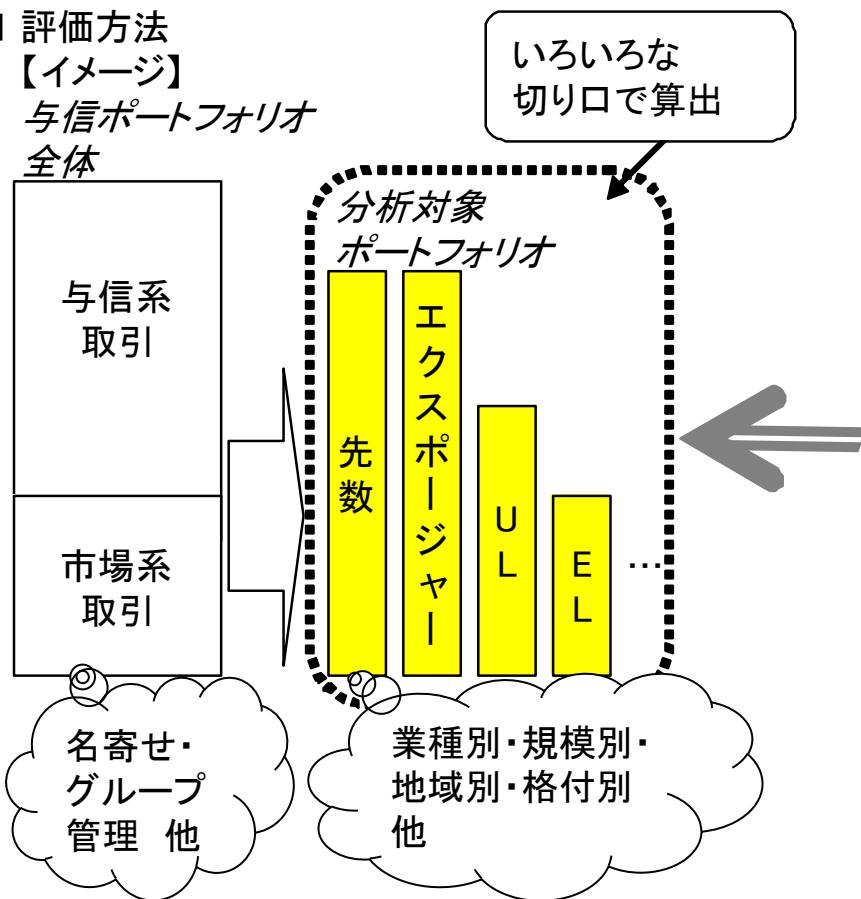
- 主に、集中度・リスク量・格付別残高等を分析

⇒ (目的) 与信集中リスクの削減、信用コストの削減

- 評価方法

【イメージ】

与信ポートフォリオ  
全体



【目的に応じた評価・分析】

①現状分析

- ULをベースにクレジットラインを検証
- ULを統合リスク量算出に活用
- ELを与信コストの定量的予測に活用
- 格付遷移、デフォルト率の状況等から中小企業ポートフォリオ分析を実施他

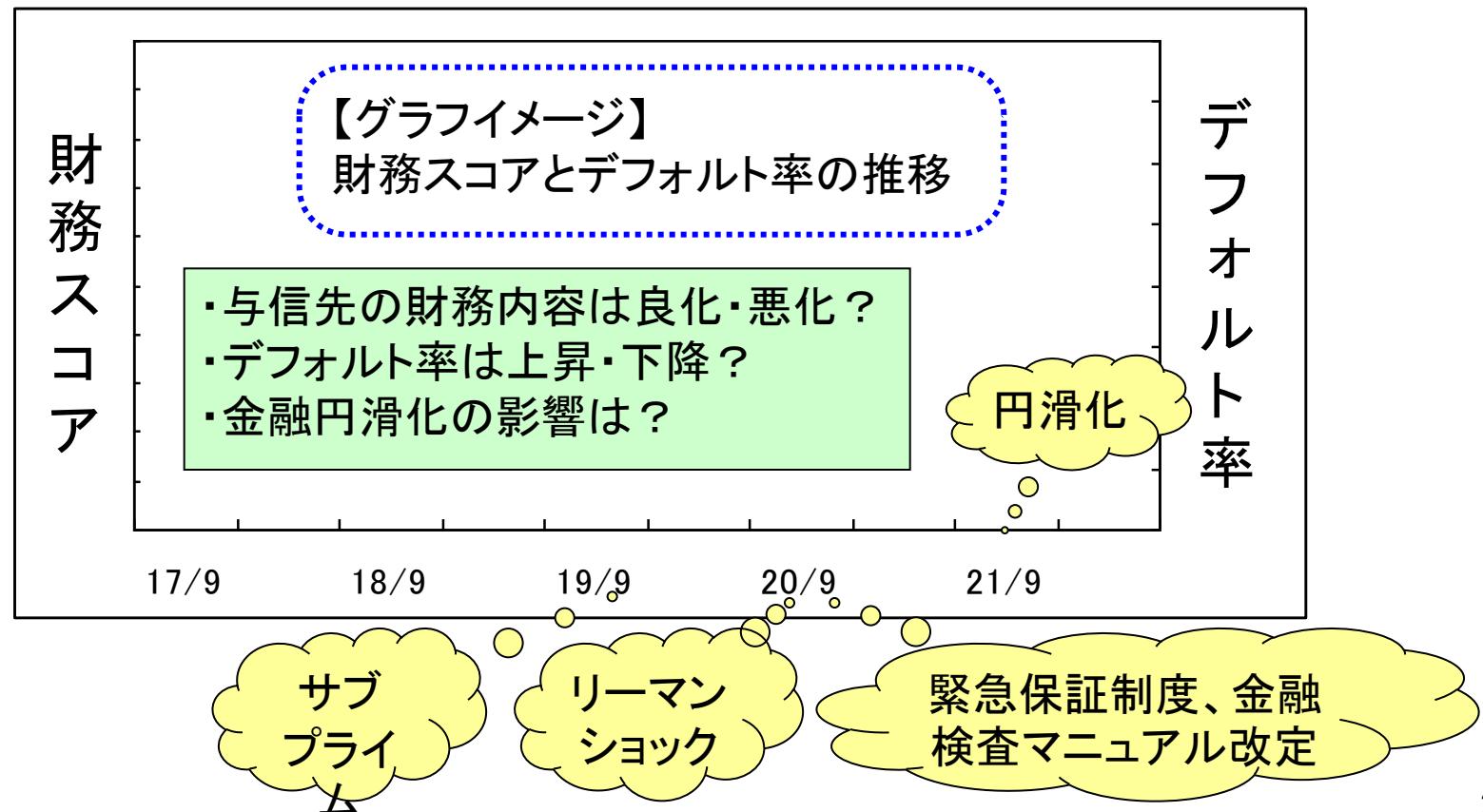
②ストレス・テスト

- 特定の業種や大口グループのデフォルト確率(PD)上昇
- 不動産担保価値の低下によるデフォルト時損失率(LGD)の上昇他

## (4) 与信ポートフォリオ\_使用例～その1

- 与信先の財務内容とデフォルト率の推移を分析。

⇒ たとえば、与信先の財務内容が悪化しているにもかかわらず、デフォルト率が低下している場合は、今後のデフォルト状況に注意する必要がある。



## (5) 与信ポートフォリオ\_使用例～その2

- デフォルト率等を用いて、債務者区分別ELを算出。

⇒ ELベースの与信コストを試算 (下記①+②+③+④)

□ メリット～何通りものシミュレーションが可能

・全体のデフォルト率 (A) ~外部要因

・所謂、突然死率 (B) (B') ~内部管理要因

- ① 「正常・要注意・要管理」から「破綻懸念(破綻)以下」に転落する部分の引当額試算。

・ 格付別残高 × 無担保与信率 × 破綻基準の1年デフォルト率 = EL

	a 残高	b 無担保 与信率	c=a×b 無担保 与信額	d 破綻基準 デフォルト率	e=c×d EL
1格					
2格					
⋮					
<b>全 体</b>					A

債務者区分別  
ELを集計

f (合計はeと一致)

	EL
正常から転落	
要注意から転落	
要管理から転落	

・ 債務者区分別EL × 破綻以下遷移率 × 引当率 = 引当額

f 正常からの 転落部分のEL	g 遷移率	h 引当率	f × g × h 引当額
正常からの 転落部分のEL	破綻		
要注意からの 転落部分のEL	実質破綻以下	B	
要注意からの 転落部分のEL	破綻		
要注意からの 転落部分のEL	実質破綻以下	B'	
要管理からの 転落部分のEL	破綻		
要管理からの 転落部分のEL	実質破綻以下		

正常・要注意・  
要管理から、  
破綻以下に  
転落する部分  
の、個別貸倒  
引当金の試算

- ② 「破綻」から「実質破綻以下」に転落する部分の引当額試算。(上記①と同様に計算)

- ③ 担保二次ロス、破綻引当率変動、回収・ランクアップ等による調整。

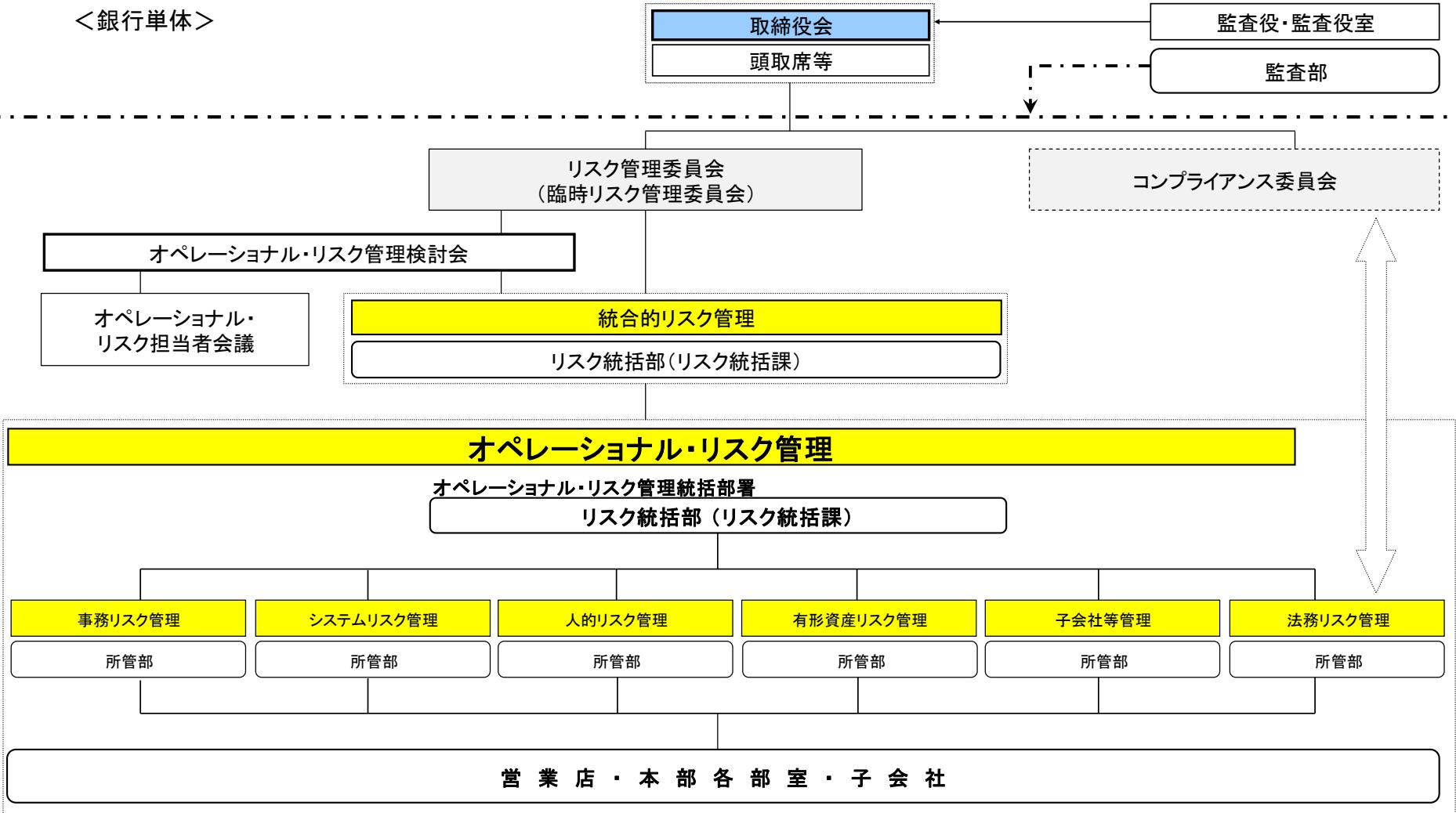
- ④ 一般貸倒引当率の試算。(直近算定期間の棄損率を上記①から求めた棄損額により算出)

## 6. オペレーショナル・リスク管理

## 6. オペレーション・リスク管理

### (1) オペレーション・リスク管理体制

<銀行単体>



## (2) オペレーショナル・リスク管理の運営状況

### ■ オペレーショナル・リスク管理プログラム

- ・期初、オペリスク管理所管部が、半期のオペリスク管理施策を策定。
- ・進捗管理を行い、オペリスク管理検討会にて報告。

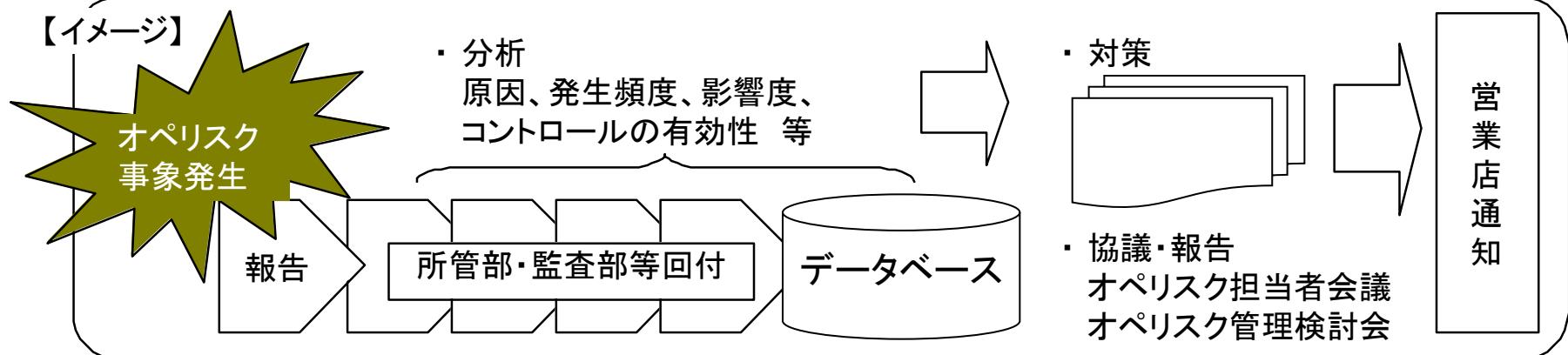
### ■ RCSA

- ・本部、営業店、関連会社のオペリスクを管理対象とし、定期的に実施。

### ■ KRI

- ・適宜指標の見直しを行い、月次で観察・検証。

### ■ オペレーショナル・リスク事象への対応強化

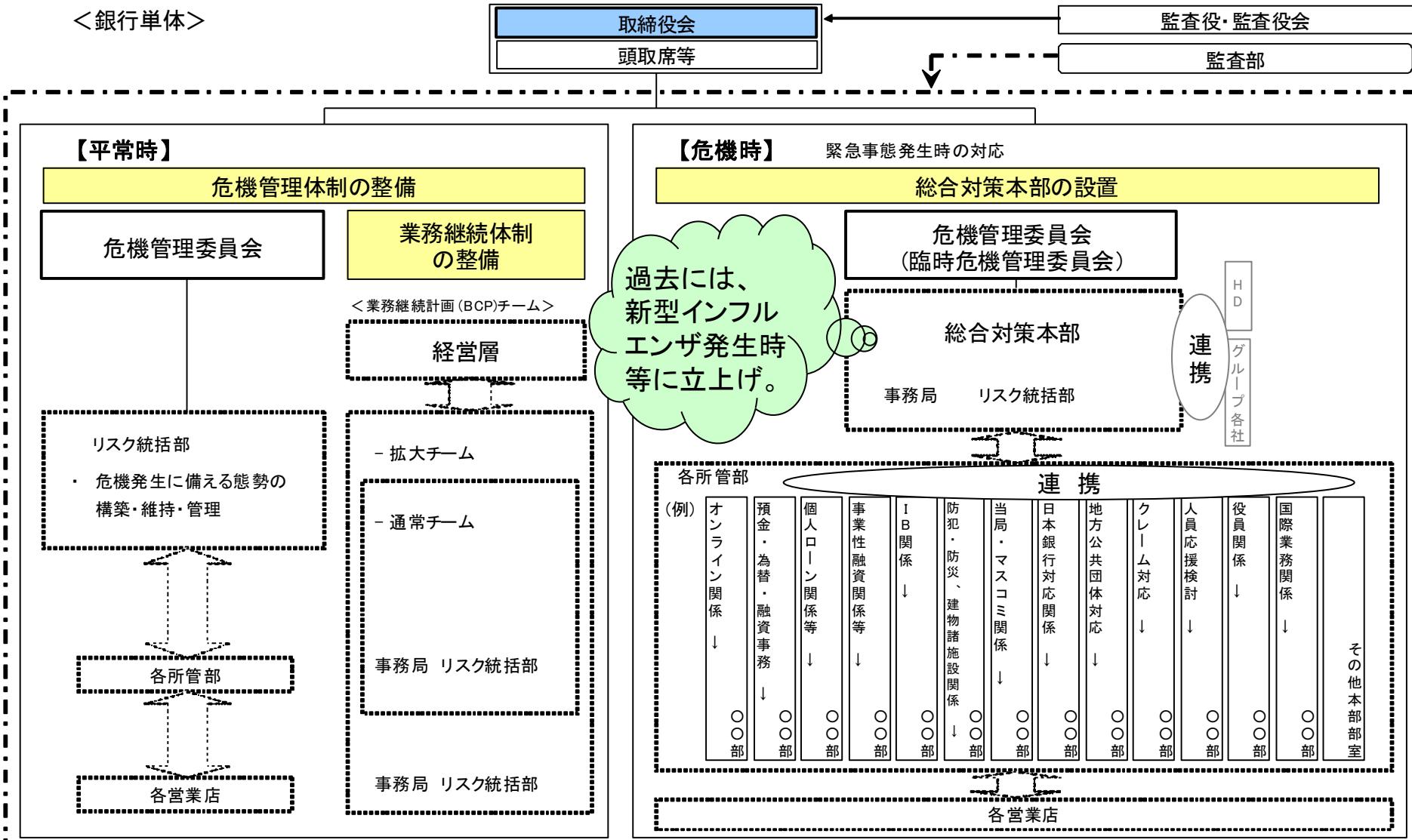


## 7. 危機管理とBCP

## 7. 危機管理とBCP

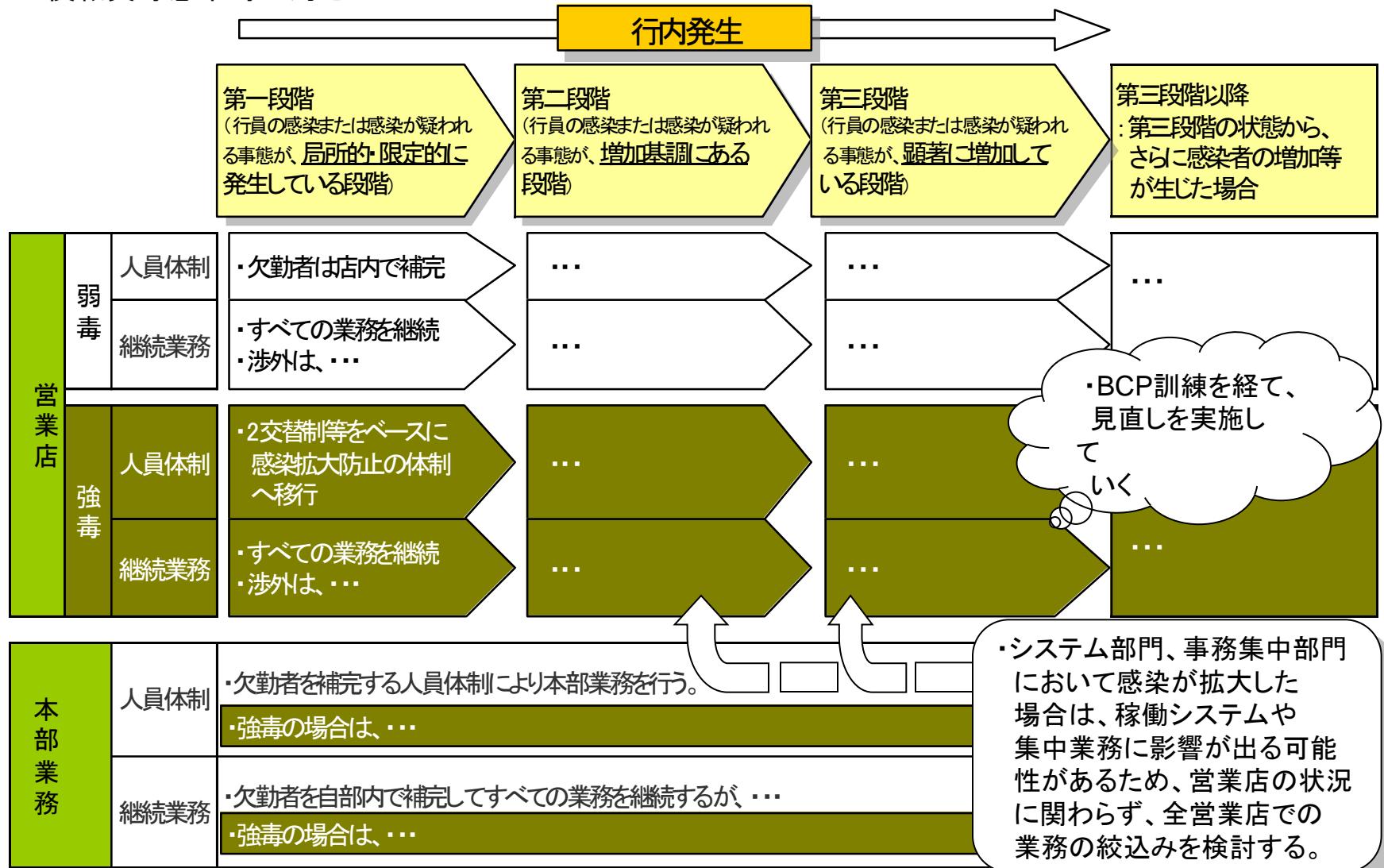
### (1) 危機管理体制

<銀行単体>



## (2) 新型インフルエンザ対策のBCP

### ■ 役職員等感染時の対応



## 8. リスク管理における今後の課題

## 8. リスク管理にかかる今後の課題

### ■ 市場リスク管理

- コア預金
  - ・ 流動性預金の金利リスク精緻化の観点から検討は進めている。
  - ・ 一方で、「リスクテイク」余力が増加すると考えていいのか、検討課題も多い。
  - ・ 管理態勢(運用面、バックテスト等の検証、監査等)整備と併せて検討。
- プリペイメントとロールオーバー
  - ・ 一部の内部管理に使用しているが、一層の精緻化および活用に向けて取組み中。
  - ・ リスク量、時価開示、収益管理等への反映を検討。

### ■ 流動性リスク管理

- 流動性規制への対応
  - ・ 流動性カバレッジ比率、安定調達比率算出等にかかるギャップ分析中。
  - ・ 規制動向および定量的影響度調査の状況を注視しながら対応準備。

### ■ 信用リスク管理

- 格付モデルのチューニング
  - ・ パフォーマンス(AR値、序列感等)向上のための取組み。
  - ・ 計測期間、採用財務指標、実態バランスの反映方法等、見直しを検討中。

### ■ オペレーションル・リスク管理

- 外部データの活用(オペリスク・データコンソーシアムへの加入)
  - ・ 他行の損失事例も参考にし、潜在的なリスク把握および対策実施に活用可能であり、体制面を考慮しつつ検討。
- 外部委託先の情報漏えい対策(再委託先)
  - ・ チェック表を改定し、管理強化を実施中。PDCAにより実効性確保を図っていく。

本資料に記載している内容の無断での転記・転載、および、本資料の第三者への配布は、  
ご遠慮いただきますようお願いいたします。

- お問い合わせ先 -

北洋銀行 リスク統括部  
〒060-8661 札幌市中央区大通西3丁目7番地  
TEL:011-261-1341 FAX:011-261-1605